



この号の内容

- 1 選抜スケジュール
- 2 Online Application System
- 3 カリキュラム等の検討状況

選抜スケジュール-2019

2019 年 10 月から予備教育履修生として受け入れ、翌年 4 月からの学部入学を目指す留学生の出願～選抜の時期を迎えています。

出願期間：2018 年 11 月 15 日～12 月 28 日

書類審査：2019 年 1 月 15 日～ 2 月 8 日

国際高等教育院が実施します。

面接審査：2019 年 3 月 11 日～ 3 月 30 日

学部と国際高等教育院とで実施します。

合格発表：2019 年 4 月 19 日

この第2期生は最大で 15 名程度を受け入れる予定です（最大ですので基準に満たない場合は 15 名以下となります）。

出願状況【最終】

228名

の出願を受理しました

受入予定枠は前年比3倍となりますが、優秀な合格者を得るために 100 名以上の有力な候補者の出願を目指しリクルート活動を展開し、9カ国【インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・フィリピン・台湾・シンガポール・香港】に計17回のリクルートチームを派遣し、それぞれの国の最優秀層の高校47校で Kyoto iUP の説明と優秀な学生の応募をお願いする機会を得られました。この効果によって、最終的に228 名からの出願を受け付けました。

Online Application System を導入

2019 年の選抜は、前述のとおり広報活動を一層充実させ、またこれまでの広報活動の効果も期待できることから、出願者の大幅な増加を見込み、この選抜に係る作業に円滑に対応できるように Web による出願のシステムの開発導入に取り組みました。今年4月から本格的な開発作業をスタートし、試行等も重ね、**今期の出願・選抜から運用しています。**

記載漏れやミスをシステムによって相当程度防ぐことができ、数多い提出書類の添付にも対応できるため、出願者の作業効率や利便性が高まるとともに、選抜に係る諸作業も格段に効率化等が図れます。

400を超える出願登録・232の出願完了があるなかでもトラブル無く運用できていますが、今期の出願全般を通じて点検・総括して更に改良していきたいと考えています。

カリキュラム等の検討状況

2018年7月に吉田カレッジオフィスのもとに、国際高等教育院の教員と医学部と薬学部を除く8学部の教員とで構成する「カリキュラム検討WG」を設置しました。現在、以下の4点について検討が進められています。

①日本語以外の予備教育の科目・内容について

国際高等教育院としては、日本の高校の科目の内容とそれぞれの国の当該科目の内容にギャップがある場合に、それを補うべく、理系の場合は数学・物理・化学を、文系の場合は文系むけ数学と、希望する専門の前提となる日本社会や文化の理解を促す科目を基本として考えていますが、各学部としてその科目・内容で良いか、追加したい科目・内容、各科目の時間数について検討が進められています。

②学部入学に係る判定の方法について

国際高等教育院としては、予備教育が終了する段階で、履修した科目の習熟度について日本留学試験（EJU）を模して試験を行うことを考えていますが、これと合わせて学部入学の判定をどのように行うかについて検討が進められています。

なお、これによって実施しておくべき予備教育の内容にも連動させる必要があるため、①と②で関連した検討をお願いしています。

③日本語科目・単位の卒業単位上の取扱について

入学後に履修すべき日本語科目は日本語未修者の場合最大で40単位相当となり、これをそれぞれの学部の要卒単位に純増すると負担が大きくなってしまいうことから、日本語を 1) 初修外国語とすること、2) 人文社会系科目群として扱うことや、3) iUP 学生独自の要件を設けることなどについて検討が進められています。

④1・2回生担当の日本語専門科目の履修上の工夫について

iUP 学生は教養・共通教育については英語による科目の履修と単位修得を基本として考えていますが、概論科目や専門基礎科目など1・2回生時に履修が義務付けられている科目については、日本語による履修が困難であることから、1) 配当年次を緩和すること、2) テキストの英語化とTA等の配置により対応すること、3) G30 など英語コースで開設されている科目による代替えなどについて検討が進められています。

経済学部と工学部については、第1期生の予備教育が進行しており、すでに予備教育の内容を決めて実施しているほか、検討を急いでいるところです。

WGでは学部ごとの検討の状況や考え方を共有しながら、全体として効果的な検討が進められるように、委員レベル、執行部レベル、教授会レベルの段階をおっての検討をお願いしながら情報共有に努めています。

Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 吉田カレッジオフィス事務局

E-mail : Kyoto_iup@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

URL : <http://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>

